



今週末

昨日、漢文の授業の後で、●●さんがうれしそうに、「先生、木曜日提出のサクシードが終わったんですよ～♡」と踊りながら？言っていた。まずはめでたいことである。うまく土・日を活用できたのだろう。

一方、●●くんは、「計画性がないせいか、来週の宿題をやったのに、今週の宿題をやっていない…あ～あ」と嘆いていた。●●くんはよく嘆いている。しかも、土・日を活用しようと思っていて、まったくムダにしてしまったとのことで、そのことでも「あ～あ」と嘆いていた。ぜひ、今週末こそはがんばってほしい…

と、言いたいところだが、今週末は第2回の模試である。今回は駿台の記述模試で、例えばこの前の模試（ベネッセ）の国語は60分だったが、今回は100分！ それだけ難易度も分量も増えるに違いない。心して取り組もう。ついでに老婆心（老翁心）ながら付け加えておくと、必ずしも第一問からやる必要はない。国語の第一問は論説で難しいから、第二問の小説から取り組んだ方がいいかも知れないし、最後に時間切れになることを防ぐ意味では、最初に漢文を済ませてしまうという手もある。なにせ、漢文は学習していない句法などが出題されたらどうしようもないわけだから、早めに見切りをつけることができたりするからである。

これは他教科も同様。数学は得意な分野の問題から、英語なら長文は最後にするとか、それぞれ取り組み方があるはずだ。そういう取り組み順を色々と試すのも模試の大切な役割である。イイ点をとることと同時に、試験

の受け方を工夫する機会としても活用してみよう。

また、連絡してあるように、志望校を3つまで書くことができるので、ある程度考えておこう。まったく決まっていないという人は、同じ大学の文系（例えば法学部）と理系（例えば工学部）を両方書いてみるということも可能だろう。名前を知っている私立大学も、一つくらい入れてみたらどうだろう。

*

7限の漢文の白文を見ると、4月の頃にやっていたこととは大違いであることが分かるはずだ。4月には、あんな漢字だらけのものが読めるようになるとは思ってもいなかったに違いない。それが、半年間（それも週1時間の授業しかないのに）教科書の訓点文を思い浮かべながらではあっても、何とか読めるようになってきたのである。

数学にしても、英語にしても、それぞれ中学時代には「とてもとても…」という印象をもっていた内容が、だんだんできることのうちに入ってきているのではないだろうか。もちろん「混迷の度はますます深まった…泣」と感じている人もいるだろうが、その人も来年2年生になって、今学習している内容を振り返ってみると、「なるほど、こういうことだったのか！（かうなりけり！）」みたいなことが出てくるはずである。

だから、大切なことは、諦めない（捨てない）で最後まで食いついていくことである。土・日をうまく活用したり、友だちと協力しあったりして、乗り切っていこう。